労働安全衛生委員会は現在、準備委員会を起ち上げ中であり、次年度からの実施に向けて準備中(文書回答より)

(電話の設定は) 来年度からの実施に向けて、最大限の努力をしている(交渉での回答より)

要求

教職員の長時間過密労働を解消し、健康と安全を守るため

高石
回答

時間外勤務の削減に向け努力していく

十一月十八日、泉北教組は、職場から寄せられた切実な要求を基にした「教育要求書」の交渉を高石教育委員会と行いました。(一回目・障害児教育部の交渉を含む) 組合の要求と市教委の回答を掲載します。

びっくり! 時間外勤務

今年度から高石市立の小中学校では、「タイムレコーダー」が導入され、教職員の時間外勤務(超勤)が、正確に記録されます。驚くべき実態が明らかになりました。
月別平均(小:7校、中:3校)

	6月	7月	8月	9月	10月
小学校	31h	28.7h	13.3h	25.5h	28.9h
中学校	49.1h	66.3h	41.2h	60.8h	65.8h

80時間~100時間(人数)

	6月	7月	8月	9月	10月
小学校	1	1	0	0	1
中学校	15	11	4	15	16

100時間以上(人数)

	6月	7月	8月	9月	10月
小学校	0	0	0	0	0
中学校	4	28	3	23	23

「過労死ライン」は月80時間以上です。中学校の教職員の実に40%近くが10月、このラインを超えて勤務しています。教職員の命と健康を守るため、教育委員会や管理職の方の取り組みがとても重要です。

午後6時以降の電話は受け付けない設定にすることや、事務的な仕事の軽減や書類の簡素化など、具体的な対策を講じること。
【文書回答】
いわゆる「働き方改革」については学校閉庁日の設定や部活動ガイドラインを制定す

【交渉での追加回答】
各員の超勤時間(左表)
市教委としては、時間外勤務時間がかかり多い実態と認識している。

【交渉での追加回答】
来年度から設置される労働安全衛生委員会でも、積極的に議論していく。

【交渉での追加回答】
来年度から設置される労働安全衛生委員会でも、積極的に議論していく。

業務削減のため、
・消毒、印刷などを行う「ボランティア」等を確保するために、補正予算を獲得した。
・「ボランティア」等の確保については、校長にお願いしている。
・また、当初は6校のみの15時間の非常勤の配置を、補正予算で10校配置に確保。
・これからも手立てを打ち、時間外勤務時間の削減に向け努力していく。

【文書回答】市費での教員の雇用は本市における財政状況から、市費負担での教員増は困難であると考えます。今後も適切な機会に府や国に対して早期実施については、働きかけをしてまいりますと考えております。
【要求】府「習熟度加配」を、引き続き「学級担任可」との各校の自主的な判断を認めること。
【回答】正式な回答はまだないが、今のところ、府も同じ方向である。

【要求】
安心・安全な少人数学級(1学級20人程度)をすみやかに実施するよう、強く府や国にはたらきかけること。また、それが実現していない段階でも市独自で小・中学校の35人以下学級の措置を直ちにとること。教育委員会として市の財政部に予算要望すること。

市教委として「1年単位の变形労働制」の導入をしないこと。
【交渉での確認内容】
・府教委への「变形労働制」実施反対の申し入れを行う。
・府教委も、早急な実施は考えていないようだ。